ライオン

全国の中学校・高等学校でサンプリングを実施

ライオンは、油汚れが水のように「サラサラ落ちる」ナノ洗浄の食器用洗剤「Magica」を通じて、日頃は言えない「感謝の気持ち」を家族などに贈ることを応援する「母の日企画」を実施する。

2017年4月より全国の中学校・高等学校の生徒 総計7万人（全国約130校）へ、家族への感謝の気持ちを届けるプレゼントを作成できる『Magica』母の日セット」を本体とともにサンプリングする。

また、「母の日セット」を付けたMagicaを、全国の一部店頭でも数量限定で販売する。

「母の日セット」は、メッセージシール（防水仕様）、食器洗いお手伝いチケット付きリーフレット、プレゼント用シールがセットになっている。

日頃の感謝の気持ちを書き込んだメッセージシールを、Magica本体に貼ることで、「オリジナルメッセージボトル」を作ることができる。

4回分の「食器洗いチケット」の付いたリーフレットには、食器洗いのコツを記載している。

ユニ・チャーム

福島市と災害時の物資供給に関する協定締結

ユニ・チャームは、福島県福島市と「災害時における物資の供給協力に関する協定」を締結した。3月31日には、福島市役所で締結式が行われ、小林香福島市長と中野健之亮取締役専務執行役員が出席した。

同協定により、災害発生時に、市の要請に応じて支援物資として子供用・大人用紙おむつ、生理用ナプキン、マスクなどの衛星用品を提供する。また、災害時にはペットとの同行避難が認められているため、ペットフード・ペットケア用品も提供する。

福島県には、同社の生産子会社であるユニ・チャームプロダクツの生産拠点がある。東日本大震災においては、子供用・大人用紙おむつなどの衛生用品を緊急支援物資として提供したり、同県と「災害時における物資等の調達に関する協定」を締結したりするなど、これまでも連携を進めてきた。

今回、災害発生時において地域社会が抱える様々な課題を解決するため、締結に至ったという。

小林香福島市長（右）と中野健之亮取締役専務執行役員

人事異動

◆資生堂、執行役員の担当変更（4月1日付）
SCM統括、生産、生産技術開発、購買、工場（技術企画、グローバル薬務、品質保証）保坂匡哉 フロンティアサイエンス事業▽技術イノベーション本部長付 特命プロジェクト担当（SCM統括、生産、生産技術開発、購買、工場）櫛田靖

◆花王、人事異動（4月1日付）
法務・コンプライアンス部門 ブランド法務部長 國米弘一

◆ライオン、執行役員人事（5月1日付）
執行役員 国際事業本部長（執行役員 国際事業本部長兼戦略企画部長）鈴木均

◆ライオン、人事異動（5月1日付）
国際事業本部戦略企画部長（国際事業本部事業推進部）林同心

◆日清オイリオグループ、久野常務が社長に昇格（6月23日付）
日清オイリオグループは、6月23日付で久野貴久取締役常務執行役員を代表取締役社長に起用すると発表した。現社長の今村隆郎氏は、代表取締役会長となる。

私のH＆B日記

ロス実感中

今時はある事象で喪失感に襲われた際、その事象に「ロス」を付けて表現するそうだ。

その夜も我が家の冷蔵庫の隅にパック豆腐が覗いた。今年に入って何度目だろうか。一般家庭の冷蔵庫によくある光景も、我が家では異様だった。断続的な違和感にいよいよ味覚の感覚器官が耐えかね、母に問うた。「豆腐屋が閉店したのよ」。1月末をもって地元の豆腐屋が閉店し、2代目店主は年金暮らしに入った。もう食べられないとの喪失性は、2カ月以上気づかずにいた事実により喉元まで引き上げられ、舌に張り付いた。

豆腐は、手で掬った瞬間に形がくずれてしまう柔滑さが特徴だった。すき焼きなどには全く不向きで、冷や奴もスプーンを要る。聞けば、父は幼少時から食べていたというので親子2代で60年以上続いていたことになる。

その豆腐屋は小学校のすぐ傍にあり、かつては駄菓子屋も兼ねていた。豆腐の使いを買って出、駄賃で好きな菓子を買うのも楽しみだった。時代は巡り、代が替わってしばらくし、2代目主を一人残してその妻と2人の息子が家を去った。店番不在となる駄菓子屋はやむなく廃業。豆腐専業となった。

独りになった主は、1丁200円の豆腐を水の入った大きな箱に入れ、白の軽ワゴン車に乗せると地元近所を1軒1軒売りに回った。しかしながら、主敷地に入ってくれれば、朝起きたら顔を洗うように、ボールと小銭を持って玄関先に立つ。買わないという選択肢を持っていないのだ。2丁頼んだボールには必ず3丁入っていた。そんな習慣が20年近く根付く私の地元には今、「豆腐ロス」が蔓延している。

そんなロス中、利用の挨拶はいつも聞き取れないほどの微声量だった。新しく訪問した宅がドアを開けたかどうかは知らない。ただ、人柄を知る地元住民は主のその微声を待った。白軽ワゴン車がする蕎麦屋の閉店を聞きつけた学生らが協力して復活させるという報せに、私は強く惹きつけられた。同時に、豆腐屋の主の顔が浮かんでは消えた。（菅）

「女心」攻略データベース

第78回　おんな城主「直虎」に重ね合わせる女心

●執筆者プロフィール●
中村浩子
㈱ヴィーナスプロジェクト代表取締役社長
聖心女子大学在学中より、光文社「JJ」にてファッション・ライフスタイルを担当。その後「VERY」「STORY」の編集、企画を経て独立。
株式会社セブン＆アイ出版スーパーバイザーを経て、現在は一万人の読者モデル発掘の経験と女性消費者を取材し続けながら、ファッション、ビューティに関するブランドプロデュース、コンサルティングなどを行う。

●解説者プロフィール●
中野靖識　㈱船井総合研究所　上席コンサルタント
小売業を中心としたマーケティング戦略立案および実行支援を主業務としている。
特に、現場の戦術、戦闘レベルの業務である商品構成・売場作り、プロモーション、それらを最大限に活かすための社員教育までカバーしている。戦略立案から現場へ落とし込むまでの一貫した業務経験を豊富に有する。
問い合わせ先
株式会社ヴィーナスプロジェクト 小林
TEL 03-3408-7765
Mail venus-project@fine.ocn.ne.jp

ネットニュースを見ると、視聴率が悪いと酷評されているNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」ですが、私の周りでは、会う女性、会う女性が「直虎」に夢中で、視聴率100%なのではないかと思うほどです。

先日も仕事先で結婚したばかりの30代女性と休日の過ごし方の話になりましたが、彼女も日曜日に帰宅したら、まず録画した「直虎」を観るという話で盛り上がりました。ただ、新婚のダンナ様は、「真田丸」は一緒に観ていたのに、「直虎」には全く興味なく、日曜の夜は一人で楽しむ至福の時間になっているとのことでした。

私の知り合いでも、50代の男性たちが「真田丸」が終わってしまい、日曜の夜の楽しみが無くなってしまったと寂しそうに話していたのを思いだしました。

都会で働く大人女性にウケている「直虎」。人気の理由を考えてみると、まず一つは、容姿にも恵まれ、不自由なくお姫様として育った女性「おとは」が、家存続のために男性名の「直虎」と名乗って、男性社会の中で、様々な逆境にも負けずに城主を務めていく姿への共感でしょう。

この姿、実は池田理代子先生の名作、ベルサイユのばらの「オスカル」に重なります。魅力的なオスカルが、男装の麗人として、女性としての幸せより、領民のため、果てはフランス国家のためと、白馬にまたがって勇敢に闘っていく姿は、沢山の女性の女心を揺さぶりました。オスカルが初めて恋をした文武両道のスウェーデンの貴族、眩しい存在のフェルゼンへの想いをマリーアントワネットのために諦め、心の奥にしまった苦しみが見え隠れする女心も、「直虎」と重なるところです。

ただ、三浦春馬が演じた「亀」は、まさに誰もが認める王道の男前、ベルばらでいうところのフェルゼンでしたが、ドラマでは、早々に亡くなってしまいました。ですが、意外にも、私たちの周りでは春馬ロスを悲しむ声があまり聞こえてこなかったのです。それより

【自分自身と重ねる心理】

他人の意見や感情、考えや行動に対して「そのとおりだ」と感じることを共感（empathy）と言います。

特定の感情や行動に対する共感には先行体験が必要と言われているので、女性の社会進出が拡大し、意思決定する役割を業務として行わなければならない場面が増加し、自分自身の生活、仕事の現場で極めて近い体験をしている方が多くなっていることが伺えます。半面、男性は主役を奪われる、つまり意思決定の責任者ではなくなっている状況が好ましく思えないから「見ない人が多い」と考えることもできます。

ヒット商品、サービスを生み出すためには、いかに多くの方々の共感を得られるかがポイントになりますが、ターゲット客層の先行体験を考え抜くことがポイントになるものと思われます。

どのような先行体験を持った客層にアプローチしていくのか、その方々が共感するキーワードは何かを徹底的に考え抜くことが必要だとお考え下さい。

執筆者・中野靖識

も、日に日に話題をさらっていったのは、このドラマで「鶴」を演じる高橋一成の存在でした。役柄でもちょっと屈折した男心を上手に表現されていますが、彼こそが、新しい女心をとらえているのだと、女性誌が特集する回数の増加と共に納得しています。

このところ、結婚発表から不倫報道まで、モテる男性といえば、お笑いが得意な芸人タイプ、年下系の可愛いタイプ、筋肉自慢のマッチョ系タイプが主流でしたが、高橋一成は、そんなタイプと一線を画す、都会的な香りのする繊細キャラが魅力。どんな時も顔色一つ変えず、「はしゃがない男」が、新しく魅力的な存在感を放っているのではないでしょうか。

ベルばらに置き換えれば、複雑な想いを抱えながらオスカルを愛し続けたアンドレのように、はしゃがない男がセクシーであると感じることのできる女性たちが、ますます「直虎」にはまっていくことでしょう。

もう一つ、「直虎」人気の理由は、浅丘ルリ子演じる今川の党首「寿桂尼」と「直虎」との、女同士の本気の攻防にあると思います。仕事の現場で「もう、男たちには任せておけない」という想いを持っている女性たちの共感を集めているのではないでしょうか。

今、実際の職場や、家庭生活においても、男性と女性が逆転していることも多く、浅丘ルリ子の迫力のある目ヂカラやセリフ、柴咲コウさんの諦めない姿勢を体現する演技に、「私たちの不満をあきらめない」という想いを重ねる女性たちが沢山いるように思えます。

執筆者・中村浩子